

## トイレ修理で思わぬ高額請求！？

～インターネット検索で一番上位に表示されたから、という理由で依頼するのは危険です～

賃貸住宅に住んでいる。突然トイレが詰まり、インターネット検索で上位にあった「基本料金数百円～」「24時間対応」と書かれていた事業者に連絡をした。事業者はすぐに来て、トイレを見てくれた。すると「特殊な薬剤を使う必要がある」「異物が排水管の数メートル先に詰まっている」と言われ、不安になったところで「薬剤費用、圧力ポンプ代で30万円かかる」と言われた。高いと思ったがやってもらうしかないと思いを承した。詰まりは解消したが「念のため高圧洗浄もしたほうがいい」と言われたので、サービスかと思い承諾した。来訪から数時間かかり作業が終わったところで、約40万円の請求書を渡された。高額ではないか。



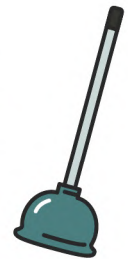
## 消費生活センターから

### ★賃貸住宅の場合、基本の連絡先は大家さんや管理会社です

賃貸住宅であれば、まず大家さんもしくは管理会社に相談しましょう。また、夜中で電話がつかないといった場合に備え、あらかじめ緊急連絡先を確認しておきましょう。

### ★修理事業者に依頼しないで解決できる場合もあります

トイレが詰まると慌てて業者に連絡をしてしまいがちですが、市販のラバーカップで解消することもあります。事業者を呼ぶ前に試してみましょう。まず、排水口の見える場所の異物をゴム手袋をはめて直接取り除きます。その後、ラバーカップを使ってみましょう。それでも解決しない場合、以下にご相談いただくと、お近くの東京都水道局・下水道局指定工事店を手配することができます。



総合設備メンテナンスセンター  
イメージキャラクター  
「とーくん」

### 総合設備メンテナンスセンター

受付時間 24時間 365日受付

☎0120-850-195 (フリーダイヤル)

URL <http://www.tmc24h.jp>

### ★契約の際は、しっかり検討しましょう

修理を急ぐあまり、契約内容について十分に検討しないまま契約をしてトラブルになるケースもあります。広告に「基本料金数百円～」と表示されていた場合でも、現場の状況次第では、必ずしも広告の表示どおりの料金で依頼できるとは限りません。広告の表示や電話で説明された料金をうのみにしないようにしましょう。そのほか、消費者の不安をあおって契約を急がせるケースや追加の作業を次々に勧め、それらの料金を請求するといったケースもあります。

トイレ修理のように緊急を要するトラブル発生時は、見積もりを取る時間がない場合もありますので、いざというときの対応方法や依頼できる事業者の情報を日頃から集めておくといよいでしょう。

### ★不注意による詰まりも起きています。トイレに流せるものなのか確認しましょう

「トイレに流せる」と記載されたペット用の砂を流したら詰まったといったケースもあるようです。こうした商品は一度に流せる量が決められています。水に溶けない紙やビニール、トイレトーパーも必要以上に使用すると詰まる原因となりますので、トイレに流してもよいものなのか、流せる量などをきちんと確認することが大切です。